

中央区 平成28年(2016年)11月 まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

第17号

1 平成28年度(2016年度)第1回総会を開催しました



熊本地震の避難所支援に従事した市職員からの活動報告の様子

平成28年6月1日(水)、**第1回総会**が開催されました。会議では、**コカ・コーラ社とのパートナーシップ協定の進捗の報告及び部会活動の予定について話し合われました。**

今年度、コカ・コーラ社と進める事業の計画では、地域催事への協力や災害時の救済用自動販売機を中央区の避難所に設置する計画など、地域貢献を目的とした取り組みの説明があり、参加者からは、設置される救済用自動販売機の設置方法についての質問や、電池内蔵の販売機について要望をいただきました。

地域防災部会からは、熊本地震の避難所支援に携わった市職員からの活動報告があり、被災地における救援物資の配り方や他の地域からの協力体制など、実際の避難所運営で考えられる課題について参加者との意見交換が行われました。

市電部会からは、東北連合町内会 丸山勇一(まるやま・ゆういち)総務部長による市電に関する利用者の目線に立ったご意見をいただきました。

今後も会議や部会を通し、中央区のまちづくりに区民の声が反映されることが期待されます。

2 平成28年度第1回市電部会を開催しました



7月25日(月)、**第1回市電部会**が開催されました。木内二郎(きうち・じろう)中央区長からは「昨年、12月にループ化が完成し、大いに盛り上がった1年でした。今年度も市電とその沿線地域の活性化について、皆さんから自由にご意見をいただき、まちづくりを進めていきたいと思っております」とあいさつがありました。

会議では、**ループ化後の利用が好調であること、アンケート調査で71%の人が魅力を実感しているなど、**

ループ化後の状況について説明があったほか、7月17日(日)に高校・大学生らが集まって行われた**市電BOOKプロジェクト**第1回会議等各種活動について報告がありました。



木内 中央区長

「市電BOOKプロジェクト」とは？

市電沿線の魅力を伝える冊子の作成を目的に市電部会から発足したプロジェクト。高校・大学生をはじめ、市民の参加をもとに進めています。

3 中央区防災訓練が実施されました



倒壊家屋救出・搬送訓練



避難所運営訓練



水防工法訓練

9月2日(金)、市立幌西小学校を会場に、最大震度7の都市直下型地震が発生した想定で**中央区防災訓練**が実施されました。建物の倒壊に加え、曙、山鼻、幌西地区の特徴を考慮した大雨による家屋への浸水や土砂災害への対応訓練を行いました。

各町内会や幌西小学校、さっされん、消防団、札幌市赤十字奉仕団、陸上自衛隊、北海道コカ・コーラボトリング(株)、中央区災害防止協力会、札幌塗装工業協同組合など、139団体574人に参加・協力をいただきました。参加者は、「札幌は災害が少ないのでなかなか実感が湧かないが、訓練は大切だと思う」「東日本規模の地震体験は、生々しい」など、災害に対する備えの重要性を実感されていました。

<発行> 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南3条西11丁目中央区役所 TEL011-205-3205 FAX011-261-2991